

那覇西ロータリークラブ

国際ロータリー 2580 地区

創立 1962 年 6 月 4 日

2018年3月28日

週報 第2513号

プログラム案内



ロータリー:
変化をもたらす

本日のプログラム

3月28日(水)

- ・点鐘・ロータリーソング
- ・日も風も星も
- ・会長報告・幹事報告
- ・立食

四つのテスト

- 1、真実かどうか 次回予定
- 2、みんなに公平か 2018年4月4日
- 3、好意と友情を 卓話「子供の貧困・居場所作り
深めるか などの活動」
- 4、みんなの為に 浦添市森の子児童センター
なるかどうか 館長 大城喜江子様

例会報告

第2630回(2018年3月14日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
63名	31名	31名	50%	58%

欠席会員

名城、知念、石川、名幸、高田、豊村、新里(純)
宮里、具志堅、上原、大城(博)大濱、儀部、福重、
慶佐次、久保、大城(純)、立津、石川(元)、城間(久)、
内野、三浦、丸橋、照屋(紀)奥野、白土、小幡、
平尾、城間(巖)宮城、與儀会員

M a k u U p

伊野波盛求(3/1那覇)
比嘉芳直(3/13地区ロータリー研修)
伊野波盛求(3/15那覇東)
名幸俊海(")
ビジター
芝田裕蔵(コザ) 近藤正成(越谷)
松本孝一(那覇)
ゲスト
周 祖恵(米山奨学生)
倉持恵美(ゲストスピーカー)

ニコニコ BOX

合計 ¥9,000 累計¥300.500

会 長 大嶺 香 副会長:具志堅一真・大城純市
幹 事:比嘉広明

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL:861-7824 FAX:861-7825



芝田祐蔵 次年度ガバナー補佐になりますが、(コザ RC)二人制ですので私の担当ではありませんが何卒宜しくお願いします。

近藤正成 本日は例会に参加させて頂き、有難う(越谷 RC) ございました。

小林 充 先日の財団の方々との懇親会・ゴルフ会大変お世話になりました。

水野委員長はじめ皆様喜んでいました。

会長報告



若狭のクルーズ船ターミナルに豪華客船クイーンエリザベス号が2年ぶりに寄港した。沖縄に限らず全国的にクルーズ船の寄港数が増えている。昨年の寄港数は博多港が日本で1番多く2番目が長崎港3番目が那覇港となっている。都道府県別で見ると石垣港(5番目)、宮古島の平良港(6番目)ということもあり沖縄県が日本で一番寄港数が多かった。何処に行っても外国の方を見かけることが多くなっている。2011年のインバウンドは28万人で2017年は254万人まで増えている。約6年で10倍近い増加がみられた。国内旅行も510万人から680万人まで約30%増加した。外国の方は習慣、文化等が異なるので問題がでるケー

スもあると思うが、自分達と違う環境で育ち、文化も違うということを受け入れる側が認識して寛容の精神でおもてなしをすることが重要です。地域に人が集まるということはその地域が活性化していきます。那覇西ロータリーの会員の皆様も直接、間接的に観光の仕事をしている方もいると思いますので、仕事を通して沖縄の観光がより発展できるように尽くして頂ければと思います。

幹事報告

- 各 RC 例会休会のお知らせ

那覇南 RC

例会休会 2018年3月26日(月)

- 青少年交換学生募集について

派遣予定国 ドイツ・フランス、カナダ、アメリカメキシコ、ブラジル、ハンガリー、スイス、オーストラリア、イタリア、ベルギー、チェコ又はスロバキア、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、スペインタイ(※数回のオリエンテーションの後、派遣国先は本人の適性を考慮し委員会で決定します。)

派遣期間(2019年7月～8月より1年間)

留學生活 受入れロータリークラブの会員又は、そのクラブが選任する複数の家庭にホームステイをして地元の学校に通います。

費用 (ロータリークラブ負担)

生活費(食費、宿泊費)学費、お小遣い

(留学生負担) 渡航費用(1年間オープンチケット旅券査証等) 生命/傷害保険料、被服費(制服代を含むこともあります) 日本での事前研修費(サマーキャンプ/ジャパントア) 研修地までの旅費(沖縄～東京) 派遣先オプションツアー参加費(派遣国によりことなります) 緊急用所持金(約10万円)

募集人員 1名

募集期間 2018年4月1日～5月31日迄

応募資格 沖縄分区内中学/高校在籍、又は沖縄分区内居住、又は沖縄分区内ロータリークラブ推薦の中学3年生、高校1、2年生

詳細は <http://www.rid2580.org/>

- 3月度お誕生日祝い

喜納昌太郎(3月3日) 大仲良一(3月5日)

宮内一郎(3月11日) 小幡圭介(3月16日)

大城博成(3月17日) 白土和夫(3月18日)

照屋俊幸(3月20日)

- 2月度皆勤バッジ

儀間聖輝(31年) 安里清榮(30年)

卓話「今をよりよく生きるための明るい終活の方法」

倉持恵美 様(終活カウンセラー)



○ここ2～3年で祖父母が亡くなった。2人の亡くなり方に衝撃を受け終活という世界に入った。

○父方のおじいちゃんは、田舎に住んでいてあまり喋らなく連絡がないのが元気という感じだった。90才近くで階段から落ちて動けなくなり、一気に体力が落ち入院その後、体調が急変し亡くなった。お友達の住所、名前も分からず、親戚も居ない中ばたばたと葬儀社を決めて送り出した。何もできなかったと後悔することもあり家族の中も鈍よりとした。

○1年後に母方のおばあちゃんが亡くなった。年金を契機に仕事を辞めカラオケ、習字、プールと自分の好きなことをする生き方をした。友達との付き合いも多く写真も沢山あった。最後にパーキンソン病を患うが、自分で病気を調べ筋肉トレーニングや頭の体操など病気と積極的に向かい合った。私達も連絡も取り合うことで落ち着いて見送ることができた。友達も来て昔の話など楽しい話をしながら通夜と葬式を迎えることができた。

○終活とは残りの人生を楽しく過ごす、残して行く人達への愛情表現、今をより良く生きる為の取組みという流れになっている。何をすればいいのかわからない、何となく寂しい等、潜在意識を分かり易くするのにエンディングノートがある。これを使い人と話をする事で、自分のやりたいことがより明確になってくるので、話をするきっかけを作りたい。具体的な終活の進め方はライフプランを立てること。人生を旅だと思い自分のゴールを見定めてから逆算していく。

自分のスタイルに必要な相手、アイテム、知識、資料を考える。そうゆう知識を持っているだけで、道に迷うことなく目標としているゴールに進んでいける。

ライフプランは5W1Hに落とし込むことが重要です。いつでも作ることができ書き換えることも可能なのでより良いゴールに向けて終活を初めることが大切だと思います。